

テーマ：発展途上国の貧困と環境問題を考える

関連の深いコース：グローバル・サステナビリティコース、ローカル・サステナビリティコース

1. このテーマを学ぶために

私たちは、地球という有限の空間、有限の資源のもとで暮らしています。このような制約があるなか、現在の先進国の人間のライフスタイルが、発展途上国の人々すべて（たとえばインドや中国に暮らす 20 億人以上の人々を想像して下さい）にも享受される日が来る、と考えるのはどうやら無理がありそうです。

一方、発展途上国においては、貧困が大きな問題となっています。貧困は単に所得が低い、お金がない、という問題にとどまりません。貧困は、健康や生命にも影響を及ぼし、人々が自らの将来を選びとり、作り上げる力をも削いでしまうものです。したがって発展途上国においては、引き続き「開発」や「発展」、「経済成長」が目標とされ、そのための努力が行われています。

では、「開発」や「経済成長」と「環境（保全）」は両立するのでしょうか。それともこれらを対立するものと捉えること自体が間違っているのでしょうか。また、途上国の人々の未来（目標）は、現在の私たち先進国の社会や人々の暮らしと同じものなのでしょうか。先進国と途上国いずれに暮らすかを問わず、「持続可能な社会」の名の下にどのような社会や経済の姿が私たちの行く末にあるのでしょうか。

在学中にこのようなテーマについて深く考えるためには、以下のような切り口のいずれかまたは複数をあわせて学び、考えることが有用だと思われます。

(ア) 発展途上国の社会や経済を知り、「開発」や「経済成長」について考える

→ 途上国経済論、国際経済協力論、社会開発論、ミクロ経済学、NGO 活動論など

(イ) 「環境」と「人間」や「社会」、「経済」の関係について知る

→ 環境経済論、環境社会論、環境人類学、国際環境政策、国際環境法、国際関係論、環境経営論、環境倫理学、食と農の環境学など

(ウ) 日本における地域社会のありようと未来について知る（他国のことをよく知り、考えるには、まず日本のことをよく知り、考える必要があります）

→ 地方自治論、地域形成論、地域経済論、地域コモンズ論、自然環境政策論、現代社会論、NPO・ボランティア論など

なお、上記（ア）～（ウ）とは別に、環境問題に関する自然科学的な知識も同じように重要です。

2. テーマに関連した推奨科目

途上国経済論 I・II	国際経済協力論 I・II	社会開発論	ミクロ経済学
環境人類学	環境社会論	環境経済論	環境社会論
国際関係論	環境倫理学	地域コモンズ論	地域経済論
NGO 活動論	国際環境政策	自然環境政策論	食と農の環境学